



目次

- はじめに
- 要旨：本レポートの概要、重要なポイント、結論
- コネクティビティの傾向：コネクティビティタイプと今後の搭載率の傾向に関する概要と分析
- 機能の傾向：本レポートで特定した機能の傾向に関する分析（予想される傾向、消費者の期待、機能の進化など）
- OEMの動向：各OEMの今後のコネクテッドサービス製品の動向の概要
- 各地域の動向：各地域の登録車両台数で見た、主要なコネクティビティタイプおよび機能の搭載状況の予測と分析
- 次のステップ：SBDが提供する調査サービス
- Excelデータベース：コネクテッドカーサービスに関する動向やデータポイントの詳細の確認が可能

関連レポート

コネクテッドカー総合ガイド
レポート番号: 526

車載コネクティビティの普及により機会は拡大している一方で、適切な戦略を導入することの重要性も高まっており、常に最新かつ正確な情報を入手しておくことが重要です。本書ではサービス、技術、主要サプライヤーおよびパートナー、ビジネスモデル、アーキテクチャ、サービス提供状況などをモデルおよび市場別に詳細に解説しています。欧州、北米および中国編は半期に一度更新し最新の情報を提供しています。

レポート番号：#536



Connected Car

コネクテッドカー市場予測

最初の車載テレマティクスシステムの登場以来、コネクテッドカー市場は前年比で飛躍的な成長を遂げてきました。この成長は、システムの利用しやすさの向上と、新しいソリューションを提供するスタートアップやサプライヤー（これらの中には、従来のOEMと提携したり投資を受けたりしている企業もある）の増加によって促進されてきました。同時に、新興の自動車メーカーは、コネクティビティシステムや機能を中心に自動車を開発し、それをUSPとして売り出しています。

従来のOEMが新たなコネクティビティの機会を模索し続ける一方で、新たなプレイヤーが登場し、革新を遂げているため、コネクテッドカー市場は複雑さを増す一方です。コネクテッドカー市場の今後の成長は、技術の成熟度、法的活動、OEMの投資戦略、車両ライフサイクル管理、およびコネクテッドカー技術に対するユーザーの期待度や受容度などが相互に影響しあいながらどのように推移するかにより左右されます。この進化する市場で存在感を増したいと願うプレミアムおよびマスマーケットOEMにとって、この結束を維持することは極めて重要となります。

本書では、車両コネクティビティと主要なコネクテッド機能の普及率、コネクテッドシステムの装着率について、今後10年間の予測を示しています。世界のコネクティビティ市場の90%以上を網羅し、地域やコネクティビティ、サービスの種類によってどのように異なるかを比較しています。

対象市場			レポート発行頻度					レポート形態				ページ数	
欧州	米国	中国											115+
日本	グローバル	その他	毎年更新	半年更新	四半期更新	毎月更新	ワンタイム	PDF	PowerPoint	Excel	Online		

本書について（調査対象・範囲）

本書では下記について解説しています。

- > 主要OEMグループの今後10年間のコネクティビティの展望
- > コネクテッドサービスの予測される進化は？
- > 各地域におけるコネクティビティの傾向の違いは？
- > 各地域で提供されているコネクティビティサービスは？

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「コネクテッドカー市場予測」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

